

戦争の終結

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

戦争の最後の時期に何が起こり、日本はどのように降伏したのだろうか。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 沖縄戦と原子爆弾

本土での戦い

おきなわせん
沖縄戦

1945年、沖縄で住民をまきこんで行われた地上戦。

げんしばくだん
原子爆弾

1945年に広島と長崎に投下された、きわめて強力な爆弾。

ひばく
被爆

原子爆弾の被害を受けること。

1945年3月末、アメリカ軍は沖縄の島々に上陸を始め、4月1日には沖縄本島に上陸した。こうして、住民をまきこむ激しい地上戦となった**沖縄戦**が始まった。中学生や女学生も戦場に動員され(ひめゆり学徒隊など)、多くの住民が亡くなった。6月下旬ごろに日本軍の組織的な戦いは終わったが、沖縄はアメリカ軍の占領下に置かれた。

アメリカは、1945年8月6日に広島、9日に長崎へ**原子爆弾**を投下した。一瞬のうちに多くの命がうばわれ、その年のうちに広島で約14万人、長崎で約7万人が亡くなったとされる。生き残った人々も放射線の影響で長く苦しみ、今も**被爆者**の苦しみは続いている。

場所	時期	できごと
沖縄	3月末～6月	アメリカ軍が上陸し地上戦となる
広島	8月6日	原子爆弾が投下される
長崎	8月9日	原子爆弾が投下される

2 戦争の終結

無条件降伏

ポツダム宣言
せんげん

1945年7月に出された、日本に降伏を求める宣言。

れんさんせん
ソ連参戦

1945年8月、ソ連が日ソ中立条約をやぶり日本に宣戦したこと。

ぎよくおんほうそう
玉音放送

1945年8月15日に流れた、天皇による戦争終結の放送。

1945年7月、アメリカ・イギリス・中国は、日本に無条件の降伏を求める**ポツダム宣言**を発表した。日本政府はすぐには応じず、その間に原子爆弾が投下され、8月8日にはソ連が日ソ中立条約をやぶって日本に宣戦布告した。ソ連軍は満州や朝鮮半島北部、樺太などに攻めこんだ(**ソ連参戦**)。

日本政府は8月14日にポツダム宣言の受諾を決め、8月15日に昭和天皇がラジオで国民に戦争の終結を伝えた(**玉音放送**)。9月2日には降伏文書に調印し、日中戦争から続いた長い戦争が終わった。日本の植民地支配や戦争により、アジアの人々を中心に、国内外で数多くの犠牲者が出た。



問いへの答え

1945年にアメリカ軍が沖縄に上陸し、住民をまきこむ沖縄戦が行われた。8月には広島と長崎に原子爆弾が投下され、ソ連も日ソ中立条約をやぶって参戦した。日本は無条件降伏を求めるポツダム宣言の受諾を決め、8月15日に玉音放送で戦争の終結が国民に伝えられた。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

